



十月二十六日(土) 水見市芸術文化館で創立五十周年記念式典が行われました。記念式典後、記念シンポジウム「私たちはどう生きるか」が行われ、第三十四回卒業生T A I H E Iさん、第三十五回卒業生海乃美月さん、第四十回卒業生山口佳南さんがシンポジストとして登場されました。T A I H E Iさんと海乃美月さんのコンサートも行われ、素晴らしい協演を堪能しました。

創立五十周年記念式典

生徒の感想

・三人の先輩の話聞いて、夢に向かって諦めずに進むことが大切だと思いました。私も諦めずに頑張りたいと思います。

・話を聞いて一番心に残ったことは、挫折しても立ち直ることができたという事です。僕も挫折しても立ち直って頑張ろうと思いました。

・T A I H E Iさんのピアノと海乃美月さんの歌声がとてもきれいででした。

・T A I H E Iさんのようにピアノが弾けるように頑張ろうと思いました。

・とても貴重な体験をすることができました。



保護者の感想

・多方面で活躍されている方々のシンポジウムが心に残った。卒業生ということで身近に感じ、これから進路を決めていく上で子どもたちの参考になったのではないかと思います。

・自身の中学校生活を振り返ったり、その後の夢に向かって進んだりした体験談がリアルでよかったです。

・T A I H E Iさんのピアノと海乃美月さんの歌声が素晴らしかったです。泣きました。参加してよかったです。



今年で創立五十周年を迎えた北部中学校の歴史と伝統は、多くの先輩方によってつくられ、つながれてきたものです。記念式典を通して、私たち生徒一同は、この北部中学校の伝統を引き継ぎ、さらに発展させていくのだと強く決意することができました。

令和六年度後期生徒会のテーマは「No.1 school」常に最高を目指して「です。これは今年度の北部中学校重点目標である「次の五十年へ 挑戦こそ成長」から発想し、次の時代へつないでいきたいという願いが込められています。生徒会長として、積極的に挨拶ができる学校、一人一人がきちんとルールを守る学校、生徒の意見が反映され、過ごしやすい学校になってほしいと思います。五十周年は一つの節目です。この節目は一つの区切りですが、終わりではなく、これからの新たな歴史をつくるスタートラインでもあります。私たちが、新たな歴史の第一歩を踏み出すのだということを自覚し、今後の学校生活、学校行事に取り組んでいきたいと思っています。



50年前の落成式

二年 廣瀬 遼斗

創立50周年記念ドローン写真撮影



現在の校舎遠影



上から見たらどうなるのかな



ドローン上昇

生徒数が多かった頃の思い出

保護者アンケートより

・統合して人数が増え、クラス数も多く、卒業するまで全く話さない人もいました。

・山の小学校から入学するとき、本当にドキドキしていたような気がします。

・平成元年入学。生徒数が多くてピロティに自転車停められず、一年生はハンドボールコート横に停めていた。

・九クラスの学年で、九組は離れた場所の教室だった。渡り廊下にあったような...

北部中学校の生徒数

